

平成24年度年間授業計画(第5学年図画工作)

月	学習内容(単元)	年間学習目標	
4	・ねん土の板から	<p>○ 自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだすことや美しさなどを感じ取ることなど造形表現活動を積極的に楽しみ、喜びを味わおうとする。</p> <p><b>【発想や構想の能力】</b></p> <p>○ 見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせて、つくりたいものの意図や美しさを考えるなど豊かな構想をしたりする。</p> <p><b>【創造的な技能】</b></p> <p>○ 表したい意図や周りの様子に関連づけながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして表し方を工夫する。</p> <p><b>【鑑賞の能力】</b></p> <p>○ 造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じ取ったり、味わったりする。</p>	
5	・板を切りぬいて		
6	・感じたことを伝えたい		
7	・タワーをたてよう		
9	・楽しく美しく伝えよう		
10	・アレッ?コレ, ナニ?		
11	・アニメーションをつくろう		
12	・想ぞうのつばさを広げて		
1	・不思議な絵		
2	・刷り重ねて表そう		
3			
年間授業時数			50
授業の工夫	○ 図画工作科が大好きな児童を増やしていくために、表現することそのものを楽しんでいく題材を設定したり授業を工夫したりする。また、高学年になると、よりうまく描きたい・創りたいという気持ちが高まってくる。そこで「心を動かされた場面」という単元を設定し、じっくり時間をかけて感想画を仕上げる。		
評価について	○ 取り組みの様子、相互評価(鑑賞による評価)、作品(思いや意図・形や色の工夫・材料の生かし方等)などにより、多面的に評価する。		
学習方法(家庭学習)など	<p>○ 表現力を伸ばしていくには、一人一人がもっている感じる力を高めていくことが大切である。自然などの中で、感動する体験を児童と一緒にできる場をつくり、美術館などに行って多くの美術作品に触れたり自分のお気に入りの作品を探しにいたりする機会を設けていただくよう協力を求める。</p> <p>○ 夏休みなどの長期の休みには、時間をかけて描いたり、工作をしたりしてじっくり根気強く作品に取り組んでいくことを児童に勧める。</p> <p>○ 児童が図画工作の学習で製作して持ち帰った作品は、部屋に飾るなどして、親子一緒にその作品のよさを話し合う機会を設けていただくよう協力を求める。</p>		